

ビジネスアイデアの概要

- ニーズ
 - 認知機能が低下することで意思疎通が困難になり、介護者の負担が増加する
 - 少子高齢化に伴い、65歳以上の約5人に1人が認知症に罹患する社会的背景がある
- シーズ
 - AIを用いて、認知症の患者さんが言いたいことを代弁する意志疎通支援システム
- 事業形態
 - 課題の当事者の家族への福利厚生や介護事業者へのBtoBの形態で提供

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- ニーズの解像度を上げる
 - 意思疎通が困難であることで、介護者の負担がどれだけ増加するのかの定量化
 - 実際に現場導入してくれる施設と提携する
- シーズの研究推進
 - 音声認識技術に関する特許申請
 - 高齢者の音声データの数を増やす
 - 代弁した意図の精度を向上させる
 - このシステムを搭載する対象をハードにするのか、ソフトにするのかを設定する

事業化の見通し

- ビジネスの視点
 - ユースケースの仮説検証
 - 顧客の拡大を見込めるかどうかの検討
 - 医療現場に導入するのか、それとも日常生活に導入するのかの設定
- シーズの目標
 - 最終的に、言語以外でもジェスチャーや目の動きなどでも意思疎通が行えるシステムの開発
 - 意思疎通が行えないことによる社会的問題を解決できる基準までの精度向上

事業者情報

松山峻大
(滋賀医科大学 5年)



Memorial Compass

ビジネスアイデア概要図等

